
第82回国民スポーツ大会

信州やまなみ国スポ
下諏訪町実行委員会

第1回競技式典専門委員会



行こう。それぞれの頂へ。



長野県PRキャラクター
「アルクマ」
©長野県アルクマ

ローイング

日時：令和8年9月30日（水）午後7時～

場所：下諏訪町庁舎 2階 第2会議室

（オンライン併用）

信州やまなみ国スポ下諏訪町実行委員会
第1回競技式典専門委員会 次第

日時：令和8年9月30日(水)午後7時～
場所：下諏訪町庁舎 2階 第2会議室
(オンライン併用)

1 開 会

2 委員長あいさつ (木下委員長)

3 委員紹介

4 説明事項

- (1) 信州やまなみ国スポ 下諏訪町実行委員会専門委員会の概要について
- (2) 信州やまなみ国スポ 下諏訪町開催推進総合計画について
- (3) 信州やまなみ国スポ 下諏訪町開催競技の概要について

5 報告事項

- 報告第1号 信州やまなみ国スポ競技別リハーサル大会開催承認について
- 報告第2号 信州やまなみ国スポ下諏訪町開催競技会場等設計業務について
- 報告第3号 第46回全日本中学選手権競漕大会視察概要について
- 報告第4号 第80回国民スポーツ大会(青森国スポ)視察概要について

6 議 事

- 議案第1号 信州やまなみ国スポ 下諏訪町情報通信実施要項(案)について
- 議案第2号 信州やまなみ国スポ 下諏訪町式典実施要項(案)について
- 議案第3号 信州やまなみ国スポ 開催要項及び競漕日程(案)について
- 議案第4号 両大会会場配置計画(案)について

7 そ の 他

信州やまなみ国スポ・全障スポ実行委員会(長野県)における取組等

8 閉 会

[添付資料]

- 資料1 信州やまなみ国スポ 下諏訪町競技運営基本計画
- 資料2 信州やまなみ国スポ 下諏訪町式典基本計画
- 資料3 信州やまなみ国スポ 下諏訪町施設整備基本計画
- 資料4 信州やまなみ国スポ 下諏訪町情報通信基本計画
- 資料5 信州やまなみ国スポ 下諏訪町競技別リハーサル大会開催基本計画

信州やまなみ国スポ下諏訪町実行委員会
競技式典専門委員会 名簿

(順不同・敬称略)

【委員長】1名

機関・所属団体名	役職	氏名	選出区分
長野県ローイング協会	理事長	木下 芳樹	スポーツ・競技関係

【副委員長】1名

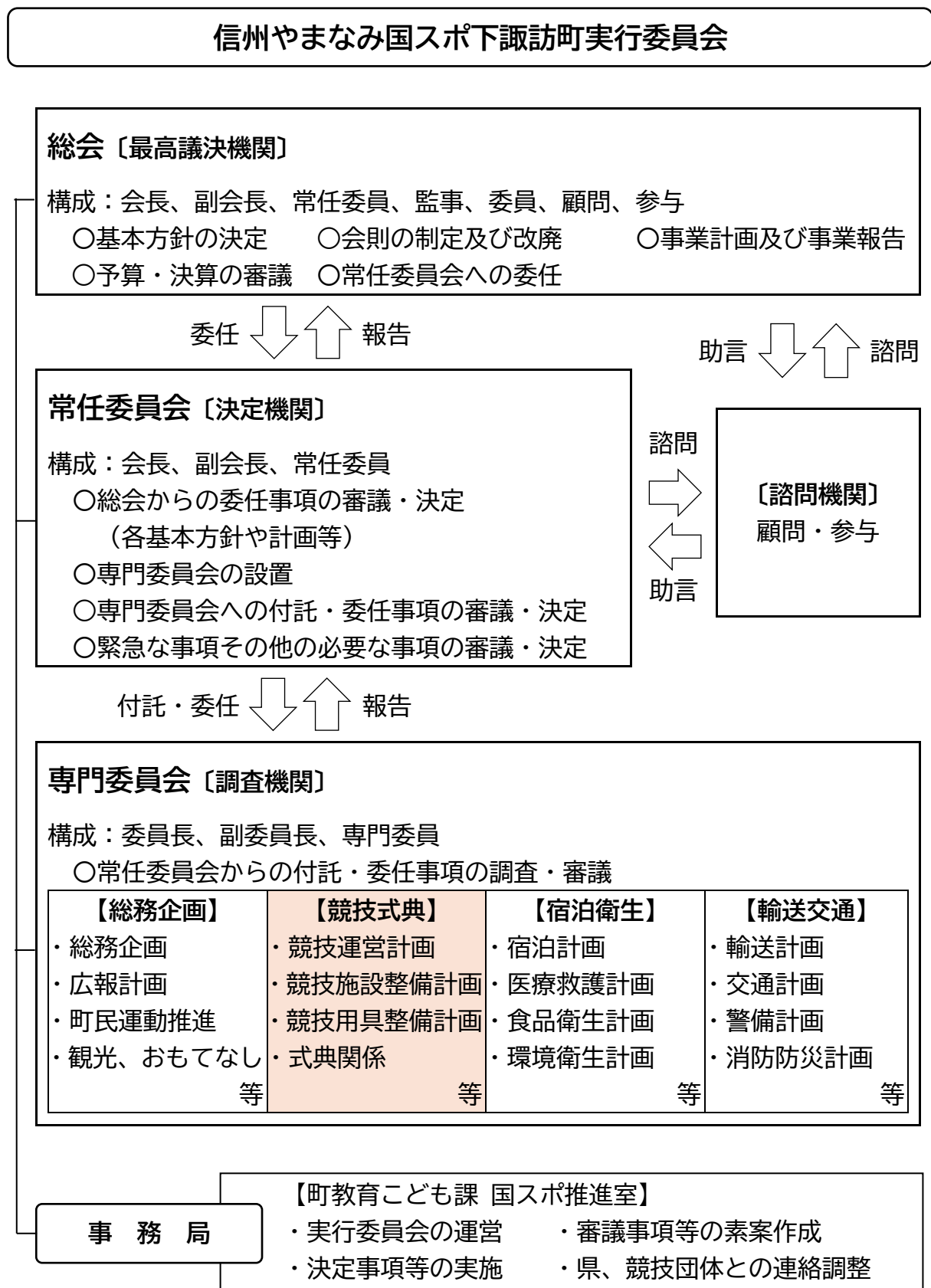
機関・所属団体名	役職	氏名	選出区分
長野県高等学校体育連盟 ボート専門部	委員長	守屋 洋明	教育・学校関係

【委員】14名

機関・所属団体名	役職	氏名	選出区分
諏訪湖漁業協同組合	代表理事組合長	藤森 恵吉	産業・経済関係
下諏訪町議会事務局	局長	中澤 務	町関係
下諏訪町スポーツ推進委員会	副会長	小口 智津子	スポーツ・競技関係
下諏訪町スポーツ推進委員会	副会長	永井 多聞	スポーツ・競技関係
下諏訪町漕艇協会	会長	小口 正志	スポーツ・競技関係
長野県ローイング協会	副理事長	北澤 勝己	スポーツ・競技関係
長野県ローイング協会	副理事長	杉村 篤	スポーツ・競技関係
長野県ローイング協会	副理事長	牛山 英俊	スポーツ・競技関係
長野県ローイング協会	競技部長	小林 淳司	スポーツ・競技関係
長野県ローイング協会	施設部長	藤森 佳明	スポーツ・競技関係
長野県ローイング協会	審判部長	高橋 典子	スポーツ・競技関係
下諏訪町水道組合	組合長	望月 勉	産業・経済関係
下諏訪建設労働組合	組合長	西村 敏晴	産業・経済関係
社団法人長野県建設業協会諏訪支部下諏訪分会	分会長	有賀 守	産業・経済関係

合計16名

信州やまなみ国スポ下諏訪町実行委員会
組織図



信州やまなみ国スポ下諏訪町実行委員会
専門委員会規程

(趣旨)

第1条 この規程は、信州やまなみ国スポ下諏訪町実行委員会会則第13条第3項の規定に基づき、信州やまなみ国スポ下諏訪町実行委員会専門委員会（以下「専門委員会」という。）の組織及び運営に関し、必要な事項を定めるものとする。

(名称等)

第2条 専門委員会の名称及び信州やまなみ国スポ下諏訪町実行委員会常任委員会からの付託及び委任事項は、別表のとおりとする。

(役員)

第3条 専門委員会に次の役員を置く。

- (1) 委員長 1名
- (2) 副委員長 若干名

(役員を選任等)

第4条 委員長及び副委員長は、専門委員のうちから信州やまなみ国スポ下諏訪町実行委員会会長（以下「会長」という。）が委嘱する。

2 役員及び委員は、無報酬とする。

(役員の職務)

第5条 委員長は、専門委員会を代表し、会務を総理する。

2 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故のあるとき、又は欠けたときはあらかじめ委員長が指名した副委員長が、その職務を代理する。

(会議)

第6条 専門委員会は委員長が招集し、委員会の議長は委員長が行う。

2 専門委員会は専門委員の過半数の出席がなければ議決することができない。ただし、総会に出席できない専門委員は、あらかじめ通知された事項について、議長に権限を委任し、委任状の提出をもって議決に加わることができる。この場合において、当該委員は出席したものとみなす。

3 専門委員会の議事は、出席した専門委員（委任状を含む。）の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

4 委員長は、必要に応じて専門委員以外の者の出席を求め、その意見又は説明を聴くことができる。

5 委員長は、必要があると認めるときは、委員に事前に送付した議案に対し書面をもって表決を求め、その結果を委員会の議決に代えることができる。

(専門部会)

第7条 専門委員会は、運営上必要があるときは、専門委員会に専門部会を設置し、専門的事項について調査研究等を行わせ、その結果を報告させることができる。

2 専門部会の委員は、会長が委嘱する。

3 第3条から第6条までの規定は、専門部会において準用する。この場合において、これらの条文中「専門委員会」とあるのは「専門部会」と、「委員長」とあるのは「部会長」と、「専門委員」とあるのは「部会委員」と読み替えるものとする。

4 部会委員の任期は、専門委員の任期の例による。

(委任)

第8条 この規程に定めるもののほか、専門委員会の運営に関し必要な事項は委員長が、専門部会の運営に関し必要な事項は部会長が別に定める。

附 則

この規程は、令和8年6月25日から施行する。

別表（第2条関係）

名 称	付託事項	委任事項
総務企画専門委員会	1 総務企画に関すること。 2 財務に関すること。 3 広報活動に関すること。 4 町民運動に関すること。 5 観光及びおもてなしに関すること。 6 他の専門委員会に属さない事項に関すること。	左記付託する事項のうち、事業の実施に関すること。
競技式典専門委員会	1 競技の企画運営に関すること。 2 式典に関すること。 3 会場施設に関すること。 4 その他競技全般に関すること。	左記付託する事項のうち、事業の実施に関すること。
宿泊衛生専門委員会	1 宿泊に関すること。 2 医事衛生に関すること。 3 その他宿泊・医事衛生に関すること。	左記付託する事項のうち、事業の実施に関すること。
輸送交通専門委員会	1 輸送及び交通に関すること。 2 消防及び警備に関すること。 3 その他輸送交通に関すること。	左記付託する事項のうち、事業の実施に関すること。

信州やまなみ国スポ 下諏訪町開催推進総合計画

1 趣旨

第82回国民スポーツ大会「信州やまなみ国スポ」（以下「本大会」という。）の成功に向け、町民、関係団体、企業、行政が一体となった「オール下諏訪」の体制により、当町を訪れる全ての人々をおもてなしの心で温かく迎え、当町が目指す将来都市像「小さくてもきらりと光る美しいまち」につながる持続可能な大会を目指し、下諏訪町開催基本方針に沿った開催推進総合計画を定めるものとする。

2 共通視点

大会の円滑な開催と実施目標の達成に向けて、共通する基本的な視点として、次の4つを掲げます。

- (1) 信州やまなみ国スポ・全障スポ実行委員会（長野県）と連動した取り組み
同実行委員会から発表される情報及び各種方針等を確認・活用し、最新の状況に対応した適切な大会運営を推進する。
- (2) SDGs^{※1}を意識した取組の推進
SDGsの17目標との関連付けを図りながら、SDGsを意識した各種取組を推進する。
- (3) ゼロカーボン及びDXの推進
エコ製品や再生可能エネルギーの積極的な活用により「2050ゼロカーボン」^{※2}の実現を目指すとともに、デジタル技術や先端技術の活用によるDXを推進する。
- (4) 安心・安全・持続可能な大会運営
会場及び周辺の既存施設・設備を有効に活用し、過去大会の運用実績を踏まえ、簡素で予算規模に見合った効率的な大会運営を実施するとともに、各種災害（感染症を含む）等のリスクに対応した各種取組を推進する。

※1 2015年9月に国連持続可能な開発サミットで採択された「持続可能な開発のための2030年アジェンダ」に盛り込まれた、17の目標と169のターゲット。推進方針には対応するアイコンを表記する。

※2 2050年度までに温室効果ガス排出量を実質ゼロにすること。

3 推進方針

(1) 総務企画

長野県、競技団体及び関係団体と緊密に連携し、円滑かつ持続可能な大会運営を行うため、総合的な計画の立案と施策の推進を図る。



(2) 財務

創意工夫を凝らした魅力ある大会を目指し、適切で効率的な財務の運営を図る。



(3) 広報

本大会に対する町民の関心や参加意欲を高めるため、効果的な広報活動を積極的に展開するとともに、同年に開かれる御柱祭をはじめ歴史、文化、自然といった当町の魅力を全国に発信する。



(4) 町民運動

町民、企業、団体、行政などの多様な主体が本大会の意義を理解し、それぞれの立場で大会に関わり一丸となって大会を盛り上げることにより、「健康スポーツ都市」にふさわしい生涯スポーツの推進と地域の活性化につなげる。



(5) 観光・おもてなし

全国から訪れる選手、役員や観戦者の方々を温かくお迎えし当町の歴史、文化、自然といった地域の魅力を提供し、再び訪れていただけるよう温かく心に残るおもてなしを提供する。



(6) 競技

競技用具の計画的な整備を行い、競技団体等と連携し円滑な運営や選手強化を図るとともに、選手が最高のパフォーマンスを発揮できる環境を提供する。



(7) 式典

表彰式等は選手の負担にならないよう創意工夫により、簡素、効率化を図りつつ、温かみのある式典とする。



(8) 施設

国民スポーツ大会開催基準要項に規定する施設基準及び競技団体の規則に基づき、既存施設・設備の有効活用を図るとともに、本大会終了後の利用にも配慮した整備に努める。



(9) 宿泊

選手、監督及び本大会関係者の宿泊調整を行い、本大会関係者がベストコンディションで活躍できるよう、安全で快適な宿舎の確保を図る。



(10) 医事・衛生

本大会に携わるすべての方々の健康と安全を確保し、快適な環境のもとで大会を開催するための医事、衛生体制の確立を図る。



(11) 輸送・交通

当町の交通事情（地理的要件）を勘案し、交通事業者及びその他関係機関と緊密に連携し、安全かつ効率的で確実な輸送手段の確保に努める。また、公共交通機関の利用を促進するなど、交通混雑の緩和と環境に配慮した輸送・交通体制の確立を図る。



(12) 警備・消防

競技会場や大会関係施設における治安の確保、災害の防止及び非常時における緊急対策に万全を期すため、警察や消防、その他関係機関と連携し、警備・消防体制の確立を図る。



4 年次計画

信州やまなみ国スポ下諏訪町開催推進総合年次計画（年度別業務一覧）は別紙のとおりとする。

年次計画は進行管理を行うとともに、適宜見直しを行う。

信州やまなみ国スポ 下諏訪町開催競技の概要

過去大会の情報をもとに作成

項 目	R9年 リハーサル大会 (第47回全日本中学選手権競漕大会)	R10年 本大会 (信州やまなみ国スポ ローイング競技)
期 間	令和9年7月24日(土)～25日(日)2日間 開会式、公式練習 23日(金)	令和10年10月7日(土)～10日(火)4日間 公式練習 5日(木)、6日(金) 代表者会議 6日(金)
主 催	公益社団法人日本ローイング協会、 全国中学校ローイング連盟、下諏訪町	公益財団法人日本スポーツ協会、 文部科学省、長野県
対 象 者	各都道府県ローイング協会及び全国中 学校ローイング連盟の両方に加盟して いる団体に属し、日本ローイング協会 に対して令和9年度選手登録した中学 生徒	都道府県協会及び日本ローイング協会に 対して、令和10年度の団体登録、選手登 録完了の者とする。選手は都道府県大会 又はブロック大会に出場した者
選 手 等	約800人	約900人
出漕種目	男女 舵手付きクォドルプル 男女 ダブルスカル 男女 シングルスカル	成年男子/ 舵手つきフォア、ダブルスカル、シング ルスカル 成女女子/ 舵手つきクォドルプル、ダブルスカル、 シングルスカル 少年男女/ 舵手つきクォドルプル、ダブルスカル、 シングルスカル
使 用 艇	自艇 ()内は第46回大会の申込数 クォドルプル 60艇(33艇) ダブルスカル 65艇(80艇) シングルスカル 90艇(101艇) ※遠隔地のクルーに限り、借艇。	配艇 クォドルプル 22艇(4県共同購入) ダブルスカル 22艇(4県共同購入) ※シングルスカルは自艇(約80艇)
出漕申込	出漕申込書(Excel)を記入し、加盟 協会の承認を得た後、メールで提出。 出漕料は、事前振込	国民スポーツ大会参加申込システム
宿 舎	会場地手配	合同配宿
備 考	熱中症対策の判断基準として、暑さ 指数を用いる。	熱中症対策に加え、低体温症への対応

開 催 承 認 通 知 書

令和8年（2026年）7月10日

信州やまなみ国スポ下諏訪町実行委員会

会 長 宮 坂 徹 様

信州やまなみ国スポ・全障スポ実行委員会

会 長 阿 部 守 一

（ 公 印 省 略 ）

信州やまなみ国スポ 競技別リハーサル大会として、下記の競技（種目）の大会を承認しましたので、通知します。

記

競技名（種目）	大 会 名
ローイング	第47回全日本中学選手権競漕大会



信州やまなみ国スポ下諏訪町開催競技会場等設計業務について

1 業務概要

信州やまなみ国スロローイング競技の本大会及びリハーサル大会を安全かつ円滑に実施するため、競技会場及びその周辺のレイアウト、交通規制計画の各種計画及び水上競技施設等の実施設計を行うため、公募型プロポーザル方式により令和8年7月9日の審査を経て、委託業者を決定した。

2 業務期間

令和8年7月15日（水）から令和9年3月12日（金）まで

3 業務委託料

1,760,000円（消費税込み）

4 委託業者

株式会社セレスポ 長野営業所

（長野県長野市南千歳2-15-3 トミノビル405）

5 業務内容

本大会及びリハーサル大会の会場設計業務に関して、別に定める仕様書に基づき業務を行う。

第46回全日本中学選手権競漕大会視察概要について

期 間	令和8年7月24日（金）～25日（土）1泊2日
場 所	福島県荻野漕艇場
視察者	事務局2名

1 大会の概要

(1) 会期 令和8年7月24日（金）～26日（日） ※以下はプログラム記載のもの

日付	内容	時間
7月23日（木）	公式練習	15:00～17:00
7月24日（金）	公式練習	8:00～11:30
	開会式受付	12:30～13:00
	開会式	13:00～13:30
	代表者会議	13:30～14:00
	競漕（予選）	15:00～17:40
7月25日（土）	競漕（予選、敗者復活）	7:00～17:10
	全国中学校ローイング連盟総会	13:00～14:00
7月26日（日）	競漕（準決勝、決勝）	7:00～12:00
	表彰式・閉会式	13:30～14:00

(2) 出漕クルー ※以下はプログラム記載のもの

チーム数	県数	男子				女子			
		1×	2×	4×+	小計	1×	2×	4×+	小計
53	33県	65	51	21	137	36	29	12	77

シングルスカル＝101クルー 101人（54クルー／54人※）

ダブルスカル＝80クルー 160人（69クルー／138人※）

クオドルプル＝33クルー 165人（90クルー／450人※）

214クルー 426人（213クルー／642人※）補漕などは除く

※参考：（ ）内は、R3年諏訪湖開催時の申込数

(3) その他

- ・天候不良により、予定の変更が生じていた。結果、日曜日の決勝レースは中止。
- ・市職員の動員は、80人/日。

2 開会式・代表者会議（高郷体育館）

- ・優勝杯返還 種別ごとに呼び出し、優勝杯を福土理事長に返還し、レプリカを進呈。
- ・来賓祝辞は、議長、教育長、県議の3人。選手宣誓は、地元チーム代表2人が壇上で。
- ・開会式35分で終了、代表者会議は40分ほど。航行ルール変更、コースの特性を念入りに説明。
- ・市役所職員は4人ほどで運営していた。司会進行は、課長。
- ・生徒は床、来賓はイス席でした。

3 全国中学校ローイング連盟総会（出席者 30人ほど）

- ・レース時間変更により当初より30分前倒し、会場も急遽、艇庫2階に変更。
- ・前年度の報告、収支決算及び役員改選の承認、今年度の事業計画案、収支予算案の承認
- ・その他、報告事項などの共有。事務局からは、次期、開催地であることを紹介した。

4 会場配置・取り組みなど

(1) 駐車場・交通規制など

- ・高郷体育館260台、高郷小学校120台、高郷中学校を大型、牽引車両用として確保。
- ※高郷中学校は降雨の影響で、土日は使用中止で、代替え地を高郷総合支所となった。
- ・艇庫周辺は、交通規制として車両が艇庫に近づくことはできなかった。
- ・各駐車場に2名の職員配置、規制箇所は警備員が配置されていた。
- ・大型、牽引車両は、バス10台ほど、トレーラー、トラックも10台ほどの駐車実績。

(2) 選手輸送など（シャトルバス）

- ・高郷体育館←（約3.5km）→会場までを市のマイクロ、中型バス3～5台で運行。

- ・会場→高郷中学校→高郷小学校をマイクロバス2台（バス会社に委託）で運行。
 - ・最寄りの荻野駅は装飾なし、シャトルバス運行なし。
 - ・会場までは、基本的に上記シャトルバスでの送迎又は徒歩での移動。
- (3) 選手控え所・リギング場など
- ・テント設営可能エリアを設定し、自前のテントを張るような形。（事前にテント持ち込みを求めるアナウンスはなし）
 - ・リギング場は、クォドルプルとその他で用意されており、艇洗い用の水、飲料用の水のタンクが設置されていた。（搬入は来た順だったが、目印ポイントと逸脱していた）
 - ・リギング場から栈橋までは、300mほどの距離がある。栈橋に行くには、護岸の階段をおろす必要があり、付近にサポート員が付いていた。
 - ・メーカーのメンテナンス員の手配なし。
- (4) 艇庫、水上設備
- ・艇庫周辺は、関係者以外立ち入り禁止措置としていた。（案内看板のみ、IDチェック員は不在）
 - ・栈橋は常設4基、仮設1基。（水位が低く、渡橋はかなりの勾配であった）
 - ・艇庫2階に競漕委員会と審判員席が設置されていた。
 - ・陸の距離表示は、見えづらく、100、250、500、800、ゴールの5か所にランドマークが設置されていた。
 - ・競漕委員会には、市の職員4～5名が居て、会場アナウンスや結果等のホームページ更新を行っていた。
 - ・記録業者（その他地点に2名）が待機し、記録システム（組合せ等）・賞状の印刷を担当していた。
 - ・別業者が設置した、判定のカメラ映像（無線で伝送）をモニターで確認できるようになっていた。
- (5) 熱中症対策
- ・高郷体育館は、エアコン完備で休憩スペースとして常時開放（会場とはシャトルバスでピストン輸送）。また、弁当の引き換え場所であった。
 - ・栈橋近くにアイスバスを用意していたが飲料水の配布はなし。
 - ・艇庫内にスポットクーラー、送風機を設置していた。
 - ・定期的に会場アナウンスで、水分補給を呼びかける放送を流していた。
- (6) 救護体制
- ・仮設のプレハブ2棟（エアコン付き）を救護所として開設。医師1名、看護師2名が待機。また、広域消防の救急隊（救急車1台）が待機し、事案発生時は、迅速に搬送していた。7/25（土）14:00時点では、熱中症患者なしとのこと。
 - ※消防署まで距離があることから、救急車の待機となっていると推測する。
- (7) その他
- ・運営スタッフは、スタッフTシャツを着用していた。
 - ・参加賞は、今治産のスポーツタオル。大会プログラムは現地1,000円で販売していた。
 - ・キッチンカー1台と地元の事業者が出て、軽食・飲料の販売をしていた。
 - ・プログラムと同じデザインのポスターが制作されていた。
 - ・歓迎用ののぼり旗に加え、出場クルー名が手書きされた、のぼり旗も設置されていた。

5 記録写真

	
大会プログラム	大会ポスター
	
開会式会場①	開会式会場②
	
競漕委員会／放送席	計測システム（ファインシステム）
	
護岸の階段／救護所	護岸の階段



アイスバス



選手テントエリア



栈橋など



総合案内所



4×+ リギング場



1×、2× リギング場



コース全景



判定



のぼり旗の装飾



連盟総会



高郷総合支所（大型車両 P）



弁当引き換え所（高郷体育館）



高郷体育館駐車場



高郷小学校



高郷中学校（雨天のため使用なし）



参加賞（タオル）

報告第4号

第80回国民スポーツ大会（青の煌めき青森国スポ）ローイング競技会 視察概要

期 間	令和8年9月11日（金）～14日（月）
場 所	むつ市大湊特設ローイング場ほか
視察者	事務局2名

1 大会の概要

会場自衛隊基地内の湾内に仮設コースを設置して競技を実施。ほぼ仮設物で運用しており、通常の大会よりも警備面や時間に制約があるなかでの大会であった。

(1) 期日 令和8年9月10日（木）～13日（日）

日付	内容	時間	
9月7日（月）～9日（水）	公式配艇練習		
9月9日（水）	開始式・代表者会議	15:00～	
9月10日（木）	競漕（予選）	8:30～16:30	
	都道府県連絡協議会	18:00～19:30	
9月11日（金）	競漕（敗者復活）	9:00～14:00	
9月12日（土）	競漕（準決勝）	8:30～16:20	} 視察
9月13日（日）	競漕（5～8位決定戦・決勝）	9:00～13:50	
	総合表彰式・閉会式	15:00～	

(3) 種別（種目）及び参加人数

種別	種目	監督	選手	参加 都道府県数	小計 (人)	合計 (人)
成年男子	舵手つきフォア	142	6	20	234	896
	ダブルスカル		2	47		
	シングルスカル		1	20		
成年男子	舵手つきクォドルプル		6	20	170	
	ダブルスカル		2	15		
	シングルスカル		1	20		
成年男子	舵手つきクォドルプル		6	20	180	
	ダブルスカル		2	20		
	シングルスカル		1	20		
成年男子	舵手つきクォドルプル		6	20	170	
	ダブルスカル		2	15		
	シングルスカル		1	20		

2 競技式典に関する取り組み

(1) 競技運営

① 選手控え所及びリギング場（艇置場）など

- ・選手控え用にテント 33 張が設置され、地区の割り付けはむつ市で実施。シャワールームの設置はなし。
- ・エルゴメーターは、28 台設置され、うち 11 台は市所有物で、残り 17 台はリース対応。
- ・リギング場（艇置場）は、各種目別に配置されており、全体的に広い印象があった。
- ・オール洗い用に大型のタンクを 2 箇所設置。給水は車両に載せたタンクから行っていた。

- ・メンテナンス要員として、メーカー（桑野造船とデルタジャパン）2社が待機し、対応していた。
- ・プレハブ内の1階に実施本部が、2階に競技本部が設置されていた。
- ・判定では、専門業者（ファインシステム）による判定カメラを500mと1000mに設置された。
- ・審判艇（カタマラン）は、5艇を交代で使用していた。
- ・競技中の実況はスポーツ協会の男性に依頼し、500mの通過順位や放送全般は高校のアナウンス部またはローイング部員の女性が担当した。
- ・選手管理システム（システムハウスタカハシ）を導入していた。
- ・ライブ配信のため、カメラ3台が設置され、交流スペースに設置された大型テレビ6台で視聴できるようになっていた。最終日（順位決定戦・決勝）は国スポチャンネルにてネット配信。（会場内に大型ビジョンはなかった。）
- ・レース結果については、市ホームページ、県ローイング協会での情報提供は実施されず、青森県実行委員会のみ実施していた。

（2）表彰関係

（種目別表彰式）

- ・準決勝まで交流スペースとして使用していたテントを、決勝当日に机を除いてイス100個を並べて実施した。次第の貼り出しはなかった。
- ・司会が受賞者を紹介後、選手が壇上に上がり、授与者から表彰状と副賞のパネルを受け取り、終了後に壇上でそれぞれ記念写真を撮影した。
- ・司会は、地元高校生が制服にて担当した。
- ・表彰状授与者は高体連会長や日本ローイング協会役員が担当した。
- ・メダルは青森県実行委員会が作成し、副賞は海軍レトルトカレーや季節の飲むヨーグルトセット、むつ市銘菓詰め合わせセット（パネル）であった。

（総合表彰式、閉会式）

- ・運営は高校先生と市職員の計20名で行われた。総合表彰式は、15分で終了。
- ・司会は地元の高校ローイング部マネージャーが制服にて担当した。
- ・女子総合の1位から8位までが表彰され、男女総合についても同様に表彰された。
- ・総合の副賞は、むつ市サーモン（パネル）であった。
- ・閉会式は、日本ローイング協会会長あいさつ（5分）、日本ローイング協会会長から市へ感謝状贈呈（3分）、実行委員会会長（市長）あいさつ（2分）、大会旗・国旗降納（5分）、閉会（～15:37）のスケジュールで行われた。
- ・市長あいさつの趣旨は、選手や競技に対する内容であった。
- ・閉会の最後に、司会から小林市の紹介と高校生の協力に対するお礼が述べられた。

（3）受付関係

（視察員、一般観覧者）

- ・海上自衛隊敷地内のため、カバン内の確認や金属探知機によるチェックを受けた後、視察員は名刺を渡してADカードの確認を受け、配布物を受け取って入場した。
- ・視察員等の受付には、テント3m×6mが2基、机10台、イス20個が配置され、市職員6人が対応した（なお、撮影禁止場所となっている）。

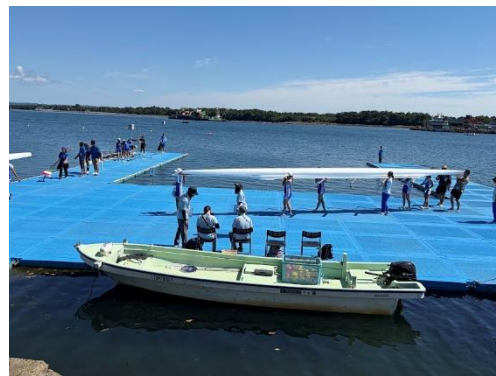
（選手）

- ・車で入場の際に自衛隊職員が駐車許可証とADカード、車内の確認を行った。

3 記録写真（競技式典）



競漕会場



帰艇桟橋



リギング場



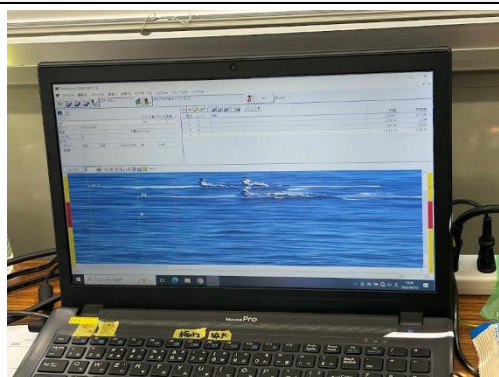
選手控所



実施本部



競技本部



競技記録



総合表彰式・閉会式

信州やまなみ国スポ
下諏訪町情報通信実施要項（案）

1 趣旨

この要項は、信州やまなみ国スポ下諏訪町情報通信基本計画に基づき、第 82 回国民スポーツ大会（信州やまなみ国スポ）（以下「大会」という。）における情報通信の実施について万全を期するため、必要な事項を定める。

2 情報通信の種類

本要項で定める情報通信の種類は、次のとおりとする。

（１）競技会運営に関する通信

信州やまなみ国スポ下諏訪町実行委員会（以下「実行委員会」という。）は、競技団体の協力のもと、競技会場等に必要な通信機器を設置し、式典及び競技会の円滑な運営を図る。

（２）記録業務に関する通信

実行委員会は、各競技会場に必要な通信機器を設置し、競技団体と連携し、迅速かつ正確な記録情報の送受信を行い、記録業務の円滑な運営を図る。

（３）輸送、交通業務に関する通信

実行委員会は、ローイング競技会に参加する選手・監督、役員、視察員、報道員及び一般観覧者（以下「大会参加者等」という。）の輸送の交通対策に必要な通信機器を設置し、輸送交通の円滑な運営を図る。

（４）消防及び警備業務に関する通信

実行委員会は、関係機関及び関係団体と連携し、消防及び警備業務の実施に必要な通信体制を確立する。

（５）大会参加者等の便宜に関する通信

実行委員会は、交通、宿泊、医療、観光等の多様な情報並びに競技結果をインターネット等で迅速に提供するサービスを実施し、大会参加者等の便宜を図る。

3 通信機器

前項の情報通信を遂行するために使用する通信機器は、概ね次のとおりとする。

（１）携帯電話

（２）無線通信機器

（３）パソコン

（４）ファクシミリ

（５）タブレット端末

4 設置

前項の機器の設置先は、概ね次のとおりとする。

- (1) 携帯電話及び無線通信機器は、大会運営上必要と認める者に携帯させる。
- (2) パソコン、ファクシミリは、実施本部、競技本部その他の必要な箇所に設置する。
- (3) 通信機器の設置については、大会運営に支障のない日時までに完了することとし、使用は原則として大会開催期間中とする。
- (4) 設置数、使用時間及び設置場所等については、競技団体、関係機関及び関係団体と協議のうえ決定する。

5 通信機器の管理及び保管

実行委員会事務局の競技担当は、競技会場等の通信機器を取り扱う管理責任者として、通信機器の管理及び保管を行う。

6 その他

この要項に定めるもののほか、必要な事項は別に定める。

信州やまなみ国スポ
下諏訪町式典実施要項（案）

1 趣旨

この要項は、信州やまなみ国スポ下諏訪町開催推進総合計画及び信州やまなみ国スポ下諏訪町式典基本計画に基づき、第82回国民スポーツ大会「信州やまなみ国スポ」における式典の実施について、必要な事項を定める。

2 方針

式典は、競技会への参加意欲を高めるとともに、選手の健闘を心から称え、多くの方々が喜びと感動を分かち合えるものとし、内容については、選手のコンディションや競技運営に配慮し、簡素化に努める。

3 式典運営

- （1）式典の運営は、信州やまなみ国スポ下諏訪町実行委員会、競技団体、関係機関、関係団体等が連携し行う。
- （2）式典の運営に実用な人員は、下諏訪町内の学校及び関係機関、関係団体等の協力のもとに編成する。

4 式典内容

式典の内容は、概ね次のとおりとする。ただし、内容及び所要時間については、選手のコンディション等の配慮に努めるとともに、ローイング競技会の式典の慣例、競技会の特性により加除し、変更するものとする。

（1）開始式

- ア 開式通告
- イ 競技開始宣言
- ウ 国旗掲揚（儀礼）
- エ 大会旗・実施競技団体旗・県旗・町旗掲揚（儀礼）
- オ 大会会長トロフィー返還
- カ 開会のあいさつ
- キ 歓迎の言葉
- ク 選手宣誓
- ケ 閉式通告

（2）表彰式

- ア 開式通告
- イ 成績発表
- ウ 表彰状授与

- エ 大会会長トロフィー授与
- オ 閉会の挨拶
- カ 歓迎の言葉
- キ 国旗降納（儀礼）
- ク 大会旗・実施競技団体旗・県旗・町旗降納（儀礼）
- ケ 競技会終了宣言
- コ 閉式通告

5 式典音楽

式典音楽は、原則としてCD、メディアプレーヤー等を使用する。

6 その他

この要項に定めるもののほか、必要な事項は別に定める。

〔5〕ローイング競技 開催要項（案）

1 期 日 2028年10月7日（土）から10月10日（火）まで（4日間）

種別	10月7日（土）	10月8日（日）	10月9日（月）	10月10日（火）
成年男子	予 選	敗者復活	準 決 勝	5～8位決定戦 決 勝
成年女子	予 選	敗者復活	準 決 勝	5～8位決定戦 決 勝
少年男子	予 選	敗者復活	準 決 勝	5～8位決定戦 決 勝
少年女子	予 選	敗者復活	準 決 勝	5～8位決定戦 決 勝

※ 公式配艇練習日 2028年10月5日（木）から10月6日（金）まで（2日間）

公式配艇練習は競技運営上の安全確保を目的に、慣れない大会会場の水域の危険箇所や水上航行ルールの把握、また使用する艇の確認するために設けています。
この期間で十分把握、確認いただくようお願いします。

2 会 場 下諏訪ローイングパーク

3 種別（種目）及び参加人数

種 別	種 目	監 督	選手	参加 都道府県数	小計 (人)	合計 (人)
成年男子	舵 手 つ き フ ォ ア	142 (1 県 6 名 以 内) ※	6	20	<u>180</u>	<u>862</u>
	ダ ブ ル ス カ ル		2	<u>20</u>		
	シ ン グ ル ス カ ル		1	20		
成年女子	舵手つきクォドルプル		6	20	<u>180</u>	
	ダ ブ ル ス カ ル		2	<u>20</u>		
	シ ン グ ル ス カ ル		1	20		
少年男子	舵手つきクォドルプル		6	20	180	
	ダ ブ ル ス カ ル		2	20		
	シ ン グ ル ス カ ル		1	20		
少年女子	舵手つきクォドルプル		6	20	<u>180</u>	
	ダ ブ ル ス カ ル		2	<u>20</u>		
	シ ン グ ル ス カ ル		1	20		

※ 各都道府県の監督数については、ブロック大会の結果により、網掛けを付した種目に参加する数と同数とする（1～6名）。

4 競技上の規程及び方法

- (1) 公益社団法人日本ローイング協会制定の「競漕規則及びコース規格規定」による。
- (2) 舵手の性別は問わない。
- (3) 予選、準決勝、決勝により優勝クルーを決定する。

- (4) 準決勝にいたるまで敗者復活の方法を採用する。
- (5) 1位～8位までの順位は、決勝戦及び5～8位決定戦により決定する。
- (6) 使用艇は公益社団法人日本ローイング協会の定める艇で配艇する。ただし、シングルスカルは除く。

5 予選方法

- (1) 都道府県協会は、種別・種目ごとにブロック大会に出場する代表1クルーを決定する。
- (2) ブロック大会主管の協会は、本大会実施要項に準じてブロック大会を実施し、本大会の代表を決定する。
- (3) ブロック大会の期日、会場、申込方法については、主管協会から通知する。
- (4) ブロック大会区分及び代表クルー数は、下記のとおりとする。

ブロック名	都道府県名	成年男子		成年女子			少年男子			少年女子		
		舵手つきフォア	シングルスカル	舵手つきクオドルプル	ダブルスカル	シングルスカル	舵手つきクオドルプル	ダブルスカル	シングルスカル	舵手つきクオドルプル	ダブルスカル	シングルスカル
北海道	北海道	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
東北	<u>青森</u> 、岩手、宮城、秋田、山形、福島	別で決定										
関東	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨											
北信越	新潟、富山、石川、福井											
東海	静岡、愛知、三重、岐阜											
近畿	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山											
中国	鳥取、島根、岡山、広島、山口											
四国	香川、徳島、愛媛、高知											
九州	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄											
開催県	<u>長野</u>											
合 計		20	20	20	15	20	20	20	20	20	15	20

6 参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準

総則5に定めるもののほか、次による。

- (1) 選手は都道府県協会及び公益社団法人日本ローイング協会に対し、本年度の団体登録、選手登録完了の者とする。また、選手は都道府県大会又はブロック大会に出場した者とする。
- (2) クルーの都道府県別構成は、単一団体又は当該都道府県協会に所属する2団体以上の混成でもよい。
- (3) クルーは、都道府県大会及びブロック大会で権利を得た当該都道府県でメンバーを構成し、参加申込締切後の変更は認められない。
- (4) 選手の本大会エントリーは、1人1種別1種目とする。
- (5) 選手、監督の兼任はできない。
- (6) 監督は、公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく、公認ローイングコーチ1、公認ローイングコーチ2、公認ローイングコーチ3、公認ローイングコーチ4のいずれかの資格を有しているものとする。

7 総合成績決定方法

男女総合成績（天皇杯得点）及び女子総合成績（皇后杯得点）は、競技得点と参加得点の合計とし、その得点の多い都道府県順に順位を決定する。ただし、同点の場合は、その順位を共有し、次の順位を欠位とする。

(1) 競技得点

天 皇 杯 対 象 種 別	皇 后 杯 対 象 種 別	順 位	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	6 位	7 位	8 位
		得 点 種 目	(点)							
成年男子 成年女子 少年男子 少年女子	成年女子 少年女子	舵手つきフォア	40	35	30	25	20	15	10	5
		舵手つきクォドルプル								
		ダブルスカル	24	21	18	15	12	9	6	3
		シングルスカル	8	7	6	5	4	3	2	1
以上の競技得点を与える。ただし、同順位の場合は、その順位を共有し、次の順位を欠位とする。なお、得点は次の順位のものに加え、当該都道府県で等分する。										

(2) 参加得点

大会（ブロック大会を含む）に参加した都道府県に10点を与える。ただし、ブロック大会で本大会の出場権を獲得しながら、本大会に参加しなかった場合は与えない。

8 表 彰

- (1) 男女総合成績及び女子総合成績第1位から第8位までの都道府県に、表彰状を授与する。
- (2) 男女総合成績第1位の都道府県に、大会会長トロフィーを授与する。
- (3) 各種目の第1位から第8位までに、賞状を授与する。

9 参加申込方法

- (1) 所定の Web ページ（国民スポーツ大会参加申込システム）へアクセスし、必要項目を入力の上、所属都道府県スポーツ協会を通じて、2028年9月6日（水）午後5時までに申込手続を完了すること。

- (2) 締切期限以降は所定の Web ページ（国民スポーツ大会参加申込システム）へアクセスできなくなるので、締切期限を厳守すること。
- (3) 参加申込締切後の選手・監督変更は、疾病、傷害その他のやむを得ぬ場合のみ認めるものとし、その取り扱いについては次のとおりとする。

ア 組合せ抽選実施前 シングルスカルも含め、選手変更が可能。交代届及び理由・診断書を添えて、以下へ原則メールにて届け出ること。

提出先

(ア) 〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町 4 番 2 号 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 606
公益社団法人日本ローイング協会
TEL 03-5843-0461 FAX 03-5843-0462
E-mail kyogi@jara.or.jp

(イ) 〒380-8570 長野県長野市大字南長野字岡田98番 1 号
信州やまなみ国スポ・全障スポ実行委員会事務局
(長野県国スポ・全障スポ大会局 競技運営課競技係)
TEL 026-235-7283 FAX 026-235-7499
E-mail kyogi2028@pref.nagano.lg.jp

(ウ) 〒393-0087 長野県諏訪郡下諏訪町 4611-11 (下諏訪体育館 1 階)
信州やまなみ国スポ下諏訪町実行委員会事務局
(下諏訪町教育こども課国スポ推進室)
TEL 0266-78-4171 FAX 0266-78-4183
E-mail 2028rowing@town.shimosuwa.lg.jp

イ 組合せ抽選実施後

競漕規則に則り、シングルスカルを除く漕手の半数までと舵手を変更することが可能。交代届及び、理由・診断書を添えて大会最初のレース発艇 1 時間前までに競漕委員会に届け出ること。

なお、公益財団法人日本スポーツ協会に対しては、大会終了後、別途、所定の手続により、参加申込情報を修正すること。

10 参加上の注意

- (1) 都道府県名が表示されたユニフォームを着用のこと。
- (2) 参加選手がオールなどを送る場合は、下記へ 2028 年 9 月 30 日 (土) ～ 10 月 2 日 日 (月) の到着期日指定で送付すること。

(送付先) 〒399-0702 長野県塩尻市大字広丘野村字金塚 1031- 1

佐川急便株式会社 松本 営業所止め

TEL 0570-01-0337

FAX 0263-52-8038

艇、オール置き場が異なるため、シングルスカル分とその他で分かるように記載ください。

11 その他

- (1) 組合せ抽選会

日 時 未定 2028 年 9 月 8 日 (金) 午後 1 時

場 所 未定公益社団法人日本ローイング協会

(2) 代表者会議（大会会長トロフィー返還）

日 時 2028年 10 月 6 日（金） 午後 3 時 30 分

場 所 諏訪自動車会館 Bu-Bu ※会場の都合上、各県代表含め 2 名以内
〒393-0046 長野県諏訪郡下諏訪町 10795 番地

(3) 総合表彰式

日 時 2028年 10 月 10 日（火） 午後 3 時

場 所 下諏訪ローイングパーク特設会場

※種目別表彰は、各種目決勝の発艇 40 分後を目安に特設会場で行う。

競漕日程(案)

10月7日(土) 第1日目				
レースNo.	発艇時刻	種 別	種 目	レース名
1	9:00	少年男子	4×+	予 選 A
2	9:08	少年男子	4×+	予 選 B
3	9:16	少年女子	2×	予 選 A
4	9:24	少年女子	2×	予 選 B
5	9:32	少年男子	2×	予 選 A
6	9:40	少年男子	2×	予 選 B
7	9:48	少年女子	4×+	予 選 A
8	9:56	少年女子	4×+	予 選 B
9	10:04	少年女子	1×	予 選 A
10	10:12	少年女子	1×	予 選 B
11	10:20	少年女子	1×	予 選 C
12	10:28	少年女子	1×	予 選 D
13	10:36	少年男子	1×	予 選 A
14	10:44	少年男子	1×	予 選 B
15	10:52	少年男子	1×	予 選 C
16	11:00	少年男子	1×	予 選 D
17	11:08	少年男子	4×+	予 選 C
18	11:16	少年男子	4×+	予 選 D
19	11:24	少年女子	2×	予 選 C
20	11:32	少年女子	2×	予 選 D
21	11:40	少年男子	2×	予 選 C
22	11:48	少年男子	2×	予 選 D
23	11:56	少年女子	4×+	予 選 C
24	12:04	少年女子	4×+	予 選 D
25	13:30	成年女子	2×	予 選 A
26	13:38	成年女子	2×	予 選 B
27	13:46	成年男子	2×	予 選 A
28	13:54	成年男子	2×	予 選 B
29	14:02	成年女子	4×+	予 選 A
30	14:10	成年女子	4×+	予 選 B
31	14:18	成年男子	4+	予 選 A
32	14:26	成年男子	4+	予 選 B
33	14:34	成年女子	1×	予 選 A
34	14:42	成年女子	1×	予 選 B
35	14:50	成年女子	1×	予 選 C
36	14:58	成年女子	1×	予 選 D
37	15:06	成年男子	1×	予 選 A
38	15:14	成年男子	1×	予 選 B
39	15:22	成年男子	1×	予 選 C
40	15:30	成年男子	1×	予 選 D
41	15:38	成年女子	2×	予 選 C
42	15:46	成年女子	2×	予 選 D
43	15:54	成年男子	2×	予 選 C
44	16:02	成年男子	2×	予 選 D
45	16:10	成年女子	4×+	予 選 C
46	16:18	成年女子	4×+	予 選 D
47	16:26	成年男子	4+	予 選 C
48	16:34	成年男子	4+	予 選 D

10月8日(日) 第2日目				
レースNo.	発艇時刻	種 別	種 目	レース名
49	9:00	少年男子	4×+	敗者復活 A
50	9:08	少年男子	4×+	敗者復活 B
51	9:16	少年女子	2×	敗者復活 A
52	9:24	少年女子	2×	敗者復活 B
53	9:32	少年男子	2×	敗者復活 A
54	9:40	少年男子	2×	敗者復活 B
55	9:48	少年女子	4×+	敗者復活 A
56	9:56	少年女子	4×+	敗者復活 B
57	10:04	少年女子	1×	敗者復活 A
58	10:12	少年女子	1×	敗者復活 B
59	10:20	少年男子	1×	敗者復活 A
60	10:28	少年男子	1×	敗者復活 B
61	11:00	成年女子	1×	敗者復活 A
62	11:08	成年女子	1×	敗者復活 B
63	11:16	成年男子	1×	敗者復活 A
64	11:24	成年男子	1×	敗者復活 B
65	11:32	成年女子	2×	敗者復活 A
66	11:40	成年女子	2×	敗者復活 B
67	11:48	成年男子	2×	敗者復活 A
68	11:56	成年男子	2×	敗者復活 B
69	12:04	成年女子	4×+	敗者復活 A
70	12:12	成年女子	4×+	敗者復活 B
71	12:20	成年男子	4+	敗者復活 A
72	12:28	成年男子	4+	敗者復活 B

競 漕 日 程 (案)

10月9日(月) 第3日目				
レースNo.	発艇時刻	種 別	種 目	レース名
73	9:00	少年男子	4×+	準決勝 A
74	9:08	少年男子	4×+	準決勝 B
75	9:16	少年女子	2×	準決勝 A
76	9:24	少年女子	2×	準決勝 B
77	9:32	少年男子	2×	準決勝 A
78	9:40	少年男子	2×	準決勝 B
79	9:48	少年女子	4×+	準決勝 A
80	9:56	少年女子	4×+	準決勝 B
81	10:04	少年女子	1×	準決勝 A
82	10:12	少年女子	1×	準決勝 B
83	10:20	少年女子	1×	準決勝 C
84	10:28	少年女子	1×	準決勝 D
85	10:36	少年男子	1×	準決勝 A
86	10:44	少年男子	1×	準決勝 B
87	10:52	少年男子	1×	準決勝 C
88	11:00	少年男子	1×	準決勝 D
89	11:08	少年男子	4×+	準決勝 C
90	11:16	少年男子	4×+	準決勝 D
91	11:24	少年女子	2×	準決勝 C
92	11:32	少年女子	2×	準決勝 D
93	11:40	少年男子	2×	準決勝 C
94	11:48	少年男子	2×	準決勝 D
95	11:56	少年女子	4×+	準決勝 C
96	12:04	少年女子	4×+	準決勝 D
97	13:30	成年女子	2×	準決勝 A
98	13:38	成年女子	2×	準決勝 B
99	13:46	成年男子	2×	準決勝 A
100	13:54	成年男子	2×	準決勝 B
101	14:02	成年女子	4×+	準決勝 A
102	14:10	成年女子	4×+	準決勝 B
103	14:18	成年男子	4+	準決勝 A
104	14:26	成年男子	4+	準決勝 B
105	14:34	成年女子	1×	準決勝 A
106	14:42	成年女子	1×	準決勝 B
107	14:50	成年男子	1×	準決勝 A
108	14:58	成年男子	1×	準決勝 B
109	15:06	成年女子	1×	準決勝 C
110	15:14	成年女子	1×	準決勝 D
111	15:22	成年男子	1×	準決勝 C
112	15:30	成年男子	1×	準決勝 D
113	15:38	成年女子	2×	準決勝 C
114	15:46	成年女子	2×	準決勝 D
115	15:54	成年男子	2×	準決勝 C
116	16:02	成年男子	2×	準決勝 D
117	16:10	成年女子	4×+	準決勝 C
118	16:18	成年女子	4×+	準決勝 D
119	16:26	成年男子	4+	準決勝 C
120	16:34	成年男子	4+	準決勝 D

10月10日(火) 第4日目				
レースNo.	発艇時刻	種 別	種 目	レース名
121	9:00	少年女子	1×	5～8位決定
122	9:08	少年女子	1×	決 勝
123	9:16	少年男子	1×	5～8位決定
124	9:24	少年男子	1×	決 勝
125	9:32	少年女子	2×	5～8位決定
126	9:40	少年女子	2×	決 勝
127	9:48	少年男子	2×	5～8位決定
128	9:56	少年男子	2×	決 勝
129	10:04	少年女子	4×+	5～8位決定
130	10:12	少年女子	4×+	決 勝
131	10:20	少年男子	4×+	5～8位決定
132	10:28	少年男子	4×+	決 勝
133	11:00	成年女子	1×	5～8位決定
134	11:08	成年女子	1×	決 勝
135	11:16	成年男子	1×	5～8位決定
136	11:24	成年男子	1×	決 勝
137	11:32	成年女子	2×	5～8位決定
138	11:40	成年女子	2×	決 勝
139	11:48	成年男子	2×	5～8位決定
140	11:56	成年男子	2×	決 勝
141	12:04	成年女子	4×+	5～8位決定
142	12:12	成年女子	4×+	決 勝
143	12:20	成年男子	4+	5～8位決定
144	12:28	成年男子	4+	決 勝

《記号説明》

4+ : 舵手付きフォア
 4×+ : 舵手付きクォドルプル
 2× : ダブルスカル
 1× : シングルスカル

《組合せ発表時刻》

敗者復活、準決勝、5～8位決定および決勝の組合せは、各種目の最終レース終了後約30分後に競漕委員会で発表する。

《配艇時刻》

レース艇は、発艇時刻の100分前に受付開始とする。
 リギング開始は、90分前からとする。

《種目別表彰式》 各種目別決勝の発艇時刻40分後を目安に、特設会場にて、1位～8位の表彰を行う。

《総合表彰式》 10月10日(火)15時00分より、諏訪自動車会館にて、男女総合および女子総合1位～8位の表彰を行う。

議案第4号-1

リハーサル大会及び本大会における会場設計 対応表

効果的かつ経済的に実施（検証）するため、対応方針を示すものであり、詳細は担当部署、中央競技団体と協議を行い決定する。

No.	内容	リハーサル大会		本大会	
		可否	特記事項	可否	特記事項
1	競技補助員、職員の動員	△	高校生補助員 職員の動員は必要最低限とする、ボランティア	○	中高生補助員 ボランティア要請、職員の動員
2	自衛隊の要請	○	ボートホルダー、救助艇 隊員33名 ゴムボート2艇	○	ボートホルダー、救助艇 隊員33名 ゴムボート2艇
3	メダル・表彰状関係	×	JARAにて用意 レプリカの盾は、実行委員会予算	○	県実行委員会にて作成 県大会局からR10/2納品予定
4	参加章関係	○	実行委員会で作成	○	県実行委員会にて作成（R10.2納品予定）
5	開会式、代表者会議	○	下諏訪総合文化センター 大ホール 及びオンライン	○	諏訪自動車会館Bu - Bu ※入人数制限を行う
6	表彰式	○	AQUA未来前	○	種目別表彰はハーモ美術館or観覧者テント 総合表彰は、諏訪自動車会館
7	おもてなし（売店など）ブース 給水所	△	出店スペース確保 1k×1.5k 6張	○	出店スペース確保 1k×1.5k 5張
8	救護所	○	医者、看護師手配（AQUA未来1階）	○	AQUA未来、みずべ公園の2か所
9	放送席（競技本部）	△	AQUA未来2階	○	AQUA未来2階
10	ADカード	×	作成しない、設定しない	○	作成する、設定する
11	識別用服飾作成	△	帽子作成（100個）	○	ベスト、帽子作成
12	選手の控え所、各種テント類の リース	○	自動車会館1階及び持ち込テントにて対応	○	みずべ公園駐車場にテント設置 自動車会館1階も解放
13	エルゴメーター	△	既存のエルゴを活用	○	エルゴメーターのリース含め検討 既存品に加え、若干リース
14	リギング場（艇置き場）	○	赤砂崎公園周辺を用意 4X+ 60艇 2X 65艇 1X 90艇 ※シングルスカルが増えてきている	○	みずべ公園と艇庫周辺に用意（2拠点） 配艇 4X+ 22艇 2X 22艇 自艇 1X 80艇
15	オールラック、工具置き場	○	仮設にて設置	○	仮設にて設置 工具置き場はテント
16	仮設棧橋	△	既存棧橋の活用 救護用棧橋（リース6基）設置	○	ゴール付近に仮設棧橋（4m幅×4か所）とAQUA未来の 既存棧橋。 ※青棧橋は審判艇用とする
17	カタマラン艇	△	既存の審判艇に加え、2艇をリースする	○	予備艇入れて5艇を用意 ※4艇のリース費用計上
18	練習水域のブイ	△	既存のブイ1本（300m～800m）を活用 ブイの数量を増やす	△	既存のブイ1本を活用 ブイの数量を増やす
19	判定台	△	既存の判定台を設置（カメラタワー設置なし）	○	仮設判定台設置（後方にカメラタワー）
20	中間	△	既存の設備を活用	△	既存の設備を活用 仮設トイレ2基設置
21	線審	△	既存の設備を活用	△	既存の設備を活用
22	発艇台	△	既存の設備を活用 ※信号発艇装置は不要	△	既存の設備を活用（周辺を立入規制） ※信号発艇装置は不要
23	艇計量所	△	スペースだけ確保（審判員の動き確認） （AQUA未来 Aシャッター内）※艇計量器なし	○	艇計量実施 （AQUA未来 Aシャッター内）
24	ステイクポート	×	既存の設備を活用	×	既存の設備を活用
25	見通し板	×	測量のち、支柱の新設 町の一般会計にて	×	測量のち、支柱の新設 町の一般会計にて
26	計測記録・カメラタワー ※ファインシステム	○	既存システム	○	ファインシステム導入
27	記録業務	×	既存の仕組み	○	県記録本部への送信
28	選手等監視 ※システムハウスタカハシ	○	システム導入なし （舵手計量なし）	○	タカハシシステム導入 （みずべ公園、AQUA未来2か所で監視）
29	ライブ配信	△	既存のもので対応	△	カメラ台数を増やす
30	メンテナンス員	×	業者に依頼しない	○	業者に依頼
31	交通規制	○	実施する 中型車以上は、通行許可証発行	○	実施する
32	夜間警備	○	警備員2名手配	○	警備員手配
33	選手シャトルバス運行	×	運行なし	○	自動車会館⇄みずべ公園で実施 マイクロバス6台ほど ※駅に行くバスは要検討
34	オール発送所・物品輸送トラック	×	設置・運行なし	○	赤砂崎公園⇄みずべ公園 運送業者に委託
35	駐車場	○	大型車：10台（砂利） 普通車：430台（臨時※） ※多目的グランド350台	○	運営用：128台（自衛隊分含む） 選手監督：329台（うち232台は広場） 観客用：430台（うち350台はグランド） （駐車許可証発行は検討）
36	仮設音響	○	仮設設置 （バーゴラ、ヘリポート広場、自動車会館奥、500m付 近）	○	仮設設置 （みずべ公園周辺、500m付近）
37	アナウンサー	×	地元高校生	○	競技会時、フリーアナウンサー
38	仮設トイレ	○	中間：2基 AQUA未来横：6基	○	自動車会館前：2基（バス乗降場） 中間：2基（来訪者用） AQUA未来横：6基（選手用） みずべ公園内 選手エリア：12基、救護所近く6基 一般観客用：16基
39	無線機	△	既存のデジタル簡易無線機に加えリース （30台リース）	○	必要台数精査

議案第4号 - 2

国スポにおける先催県の会場設営規模（事務局調べ）

2026年9月30日

開 催 年	2028年（予定）	2027年（見込み）	2026年	2025年	2024年
大 会 名 称	長野国スポ	宮崎国スポ	青森国スポ	滋賀国スポ	佐賀国スポ
会 場	下諏訪ローイングパーク	小野湖ウォータースポーツヴィレッジ	むつ市大湊特設ローイング場	琵琶湖漕艇場	富士しゃくなげ湖水上競技場
区 分	常設コース	常設コース	特設コース	常設コース	常設コース
最寄り駅からの距離	下諏訪駅/1.5km	JR小林駅/20km	JR下北駅/8.2km ※一番最寄りは大湊駅	JR石山駅/1.5km	JR佐賀駅/30km
観客リヤタルバス	あり 自動車会館のみずべ公園	あり	あり	なし	あり
駐車台数（臨時含む）	850台	700台	780台	720台	1,700台
代表者会議の会場	諏訪自動車会館 ※人数制限 収容：150名	艇庫内	レクリエーションセンター内	特設テント	艇庫内
選手控え所のテント数	2K×3K 30張	2K×3K 30張	2K×3K 33張	2K×3K 28張	2K×3K 35張
売店のテント数	1.5K×2K 5張	2K×3K 7張	2K×3K 12張	2K×3K 9張	1.5K×2K 2張 2K×3K 2張
仮設トイレ（常設除）	44基 （下水：14基、汲み取り：30基）	16基	45基	20基	33基
エルゴメーター台数	25台（既存 台）	2K×3K 6張	2K×3K 8張 28台	2K×3K 4張 20台	3K×4K 4張 28台
更衣室の有無	あり テントと既存建屋内	あり	2K×3K 2張と既存建屋内	あり 既存建屋内	1.5K×2K 4張
救護所の設置数	2か所 （艇庫とテント）	2か所 （ユニットハウスとテント）	1か所 （ユニットハウス）	1か所 （ユニットトイレ）	1か所 （ユニットハウス）
特記事項					

信州やまなみ国スポ・全障スポ実行委員会（長野県）における取組等

以下に記載する内容は、長野県の「信州やまなみ国スポ・全障スポ実行委員会」（以下「県委員会」という。）の会議資料等を基に、本大会（国スポ）における取組みをまとめたものです。県委員会の決定事項に基づき、今後、「信州やまなみ国スポ下諏訪町実行委員会」（以下「会場地委員会」という。）において関係する要項を作成していきます。

1 競技別実施要項について

各競技別実施要項は、会場地委員会が中央競技団体及び県競技団体と連携して作成し、開催前年（令和9年）の12月31日までに日本スポーツ協会において決定される。

第1次案提出期限：令和8年10月30日（金）

2 競技日程・組合せ表について

競技日程・組合せ表は、開催年に県が作成する「総合プログラム」及び会場委員会が作成する「競技別プログラム」の原稿となるものであり、会場地委員会が県競技団体及び中央競技団体と十分に協議しながら作成する。

第1次案提出期限：令和8年10月30日（金）

3 参加申込締切日及び競技の振り分け案

参加申込締切日は、大会実施要項及び各競技別実施要項内に記載されるものであり、令和9年6月の国スポ委員会において決定される。

県委員会が示した案：令和10年9月6日（水）とすることで同意。

4 表彰状等の製作について

（1）表彰状・賞状

信州やまなみ国スポで授与する表彰状・賞状には、総合閉会式で授与する総合成績表彰状、各競技会で授与する競技別成績表彰状と各種別・種目の対象者に授与する賞状がある。正式競技・特別競技の競技別表彰状及び賞状については、県委員会が作成・配布し、会場地委員会又は競技団体が筆耕し、授与する。

（2）メダル

信州やまなみ国スポ正式競技の各競技会で授与するメダルについては、県委員会が制作・配布し、会場地委員会が競技団体と協力して授与する。

（3）参加章

信州やまなみ国スポで配布する参加章については、県委員会が制作・配布し、会場地 市町村又は競技団体が対象者へ配布する。

上記物品は、令和10年2月頃、会場地委員会に納入される。

【メダルのデザイン】

雄大な信州の山並みと、信州を吹き抜ける清らかな風をモチーフにデザインした大会メダル。幾重にも重なる信州の山々を抽象的なラインで表現。鋭く伸びる稜線や重なり合う地形の造形により、自然の力強さで、選手たちが挑戦へ向かう躍動感を描き出しています。メダルをくり抜く曲線は、信州を渡る風の軌跡をイメージ。

選手たちが駆け抜けた時間や、それぞれの想いが風のように交差し、未来へつながっていく姿を象徴しています。



信州やまなみ国スポ・全障スポ 実行委員会 第2回総会（R8.7.28）資料より引用

【参加章のデザイン】

長野県の伝統工芸「水引」を用いた参加章。人と人を結び、想いをつなぐ象徴として、大会で生まれる交流や挑戦の記憶を表現。しなやかで強く結ばれる造形に、選手の精神性と地域の文化・人々の想いを重ねた。木製チャームには環境配慮型の集積材を使用し、資源の有効活用と木のぬくもりを両立したデザイン。



信州やまなみ国スポ・全障スポ 実行委員会 第2回総会（R8.7.28）資料より引用

5 記録業務について

(1) 国スポの記録業務

国スポの記録業務は県、会場地委員会及び県競技団体の密接な連携のもと、以下の業務を行う。

ア 記録本部の設置

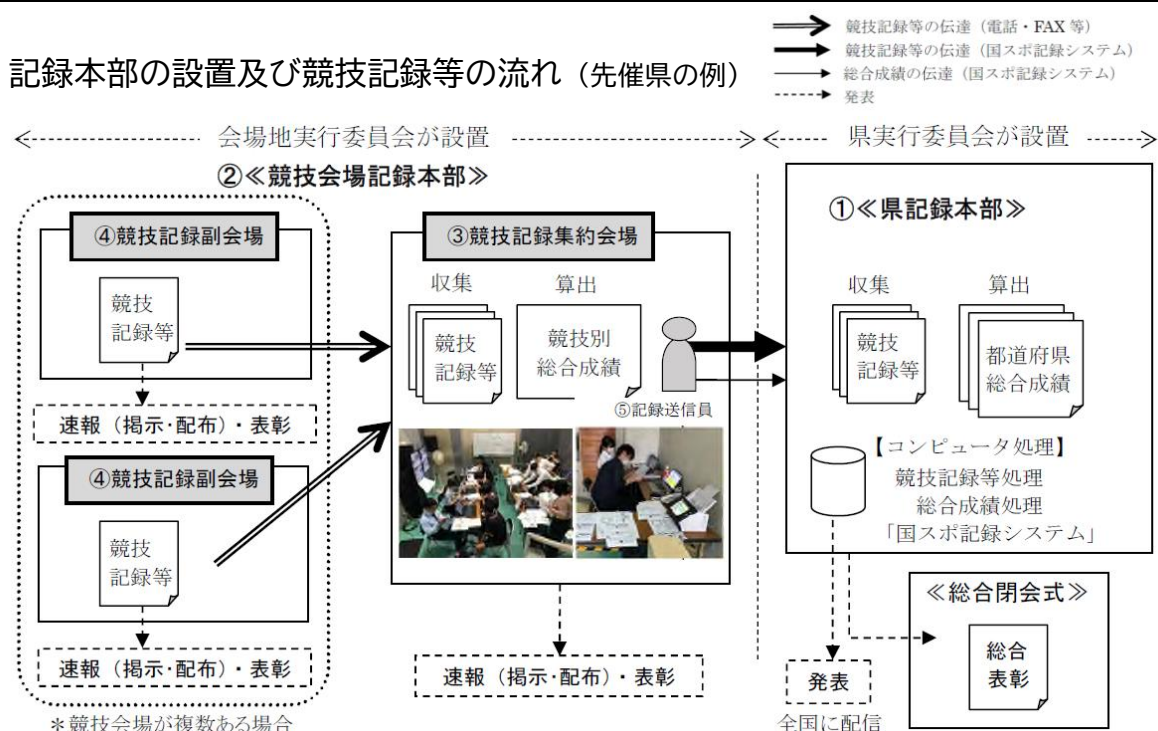
イ 競技運営に関する情報及び競技記録に関する情報（以下、競技記録等）の収集・発表

ウ 総合成績の算出・発表

(2) 競技記録等について

競技会における「競技運営に関する情報」と「競技記録に関する情報」のことを競技記録等といい、下記の区分に基づき、競技会場記録本部において「帳票」を作成し、県記録本部へ送信する。

	区分	主な内容
競技記録等	競技運営に関する情報	定時連絡 競技開始連絡、競技終了連絡等 ※電話連絡（帳票作成不要）
		緊急時対応連絡 競技遅延、中断・再開、日程変更、中止、会場変更、緊急搬送等 ※指定様式
	競技記録に関する情報	競技記録 競技結果、トーナメント表、スタートリスト、戦評等 ※各競技独自の様式
		競技報告等 プログラム訂正、記録訂正、監督・選手交代、新（タイ）記録等 ※指定様式
		総合成績 総合成績一覧等



信州やまなみ国スポ 第3回 競技運営担当者会議（R8.6.17）資料より引用

(3) 今後のスケジュール（予定）について

令和9年12月頃	第1回記録業務担当者説明会（競技記録集約会場レイアウト図の提出、送受信管理表【暫定版】の作成依頼）
令和10年1月～	競技毎記録業務担当者打合せ
令和10年6月頃	競技会場記録本部現地調査
令和10年7月頃	第2回記録業務担当者説明会

6 ライブ配信について

(1) 概要

J S P Oにおいて「みる」スポーツ充実のためオリンピックや活躍が期待される有望選手、また、そうした選手たちに挑むべく各地から集まったアスリートたちを応援するサイトで2019年第74回国民体育大会（茨城県）からサービス開始。

（時事通信社のプラットフォームを活用して運営）

本大会の正式競技全40競技全決勝実施日を原則ライブ＆アーカイブ配信

★競技を動画配信する場合は原則、国スポチャンネルにおいて配信をしなければならない。URL<https://japangamestv.japan-sports.or.jp/>

(2) 実施方法

- ・ 予選は原則配信しない。しかし、会場市町村が費用負担すれば配信は可能。
- ・ 競技団体が独自に撮影している映像を、そのまま配信するケースもある（もらい映像）

(3) 依頼事項及び今後のスケジュール

① 依頼事項

[照会への対応] 予選配信の希望、競技団体からのもらい映像有無

[JSP0による会場下見の対応] カメラ位置やスポンサー看板位置等の確認

[競技会当日対応] 会場内にカメラや配信ブースの場所・資材（長机、椅子等）の提供撮影クルー用の駐車券・AD証の発行

② スケジュール

R9.2 市町村に照会[予選配信希望、もらい映像の有無]

R9.4 市町村担当者と個別調整開始

R10.5ごろ JSP0の下見対応

R10.10 当日撮影対応

信州やまなみ国スポ
下諏訪町競技運営基本計画

1 目的

信州やまなみ国スポにおいて当町で開催される競技会については、「下諏訪町開催推進総合計画」に基づき、県、競技団体等と緊密に連携し、競技会の円滑な運営を図るとともに、競技運営に必要な用具等については、可能な限り現有のものを活用するなど効率的に整備する。

2 内容

(1) 競技会の運営

県、競技団体、関係機関及び関係団体と緊密に連携し、多岐にわたる業務を円滑に運営できるよう、町民参加を含む幅広い体制づくりを行う。

(2) 競技役員等の編成

県、競技団体等と十分に協議のうえ、適切な配置を行う。

(3) 競技用具の整備

現有する競技用具をできる限り活用し、競技運営に支障のないよう、県、競技団体及び施設管理者と十分協議のうえ、計画的かつ効率的に行う。

(4) 競技記録の収集及び速報

県、競技団体、関係機関等と連携し、正確かつ迅速に処理できる体制づくりを行う。

(5) リハーサル大会

競技会の運営能力の向上を図るとともに、信州やまなみ国スポに対する町民の機運を高めるため、県、競技団体、関係機関等と協力して開催する。

(6) デジタル技術の活用

大会関係者や一般観覧者の利便性や満足度の向上を図るため、競技会運営や競技記録業務における情報について、デジタル技術を活用した通信効率化やリアルタイム配信に努める。

信州やまなみ国スポ
下諏訪町式典基本計画



1 目的

信州やまなみ国スポにおいて当町で開催する式典については、「下諏訪町開催推進総合計画」に基づき、選手の負担にならないよう、簡素な演出や装飾に努めることを基本としつつ、温かみを感じられる式典とする。

2 内容

(1) 開始式

開始式を実施する場合は、選手のコンディションに配慮し、競技運営に支障のないよう簡素で効率化に努める。

(2) 表彰式

表彰式は、競技団体及び関係機関等と協議、協力して実施するものとし、入賞者が一般観覧者を含め、競技会に参加した多くの人と喜びを分かち合えるような、競技会終了にふさわしいものとする。

(3) 式典音楽

式典で使用する音楽は、CD等の活用を図るなど、できるだけ簡素なものとする。

信州やまなみ国スポ
下諏訪町施設整備基本計画

1 目的

信州やまなみ国スポにおける当町の競技施設の整備については、「下諏訪町開催推進総合計画」に基づき、（公財）日本スポーツ協会が定める「国民スポーツ大会開催基準要項」に規定されている施設基準を尊重し、既存施設の有効活用を図るとともに、本大会後の利用にも配慮した整備に努める。

2 内容

(1) 競技施設の整備

競技運営に支障のないよう、県、競技団体及び施設管理者と十分協議のうえ、できる限り既存施設・設備を有効活用し、仮設等での対応を含め、計画的かつ効率的に整備する。

(2) 練習会場の整備

県、競技団体及び施設管理者と十分協議のうえ、既存施設を有効活用し、現状での利用を基本とする。

(3) 臨時仮設物の設置

競技施設、観客席、案内所等の臨時仮設物については、県、競技団体及び施設管理者と十分協議のうえ、必要に応じて整備する。

信州やまなみ国スポ
下諏訪町情報通信基本計画

1 目的

信州やまなみ国スポにおける情報通信を円滑に行うため、「下諏訪町開催推進総合計画」に基づき、県及び競技団体との緊密な連携のもと、関係機関、団体（以下「関係機関等」という。）の協力を得て、情報通信体制の整備を図る。

2 内容

(1) 通信設備等の整備

大会を円滑かつ効率的に運営し、参加する選手・監督、役員、視察員、報道員及び一般観覧者（以下「大会参加者等」という。）の便宜を図るため、関係機関等の協力を得て、各種通信設備等を整備する。

(2) 通信体制の整備

ア 競技会運営における通信体制

競技会の運営に関する情報を円滑かつ効率的に送受信するため、関係機関等の協力のもとに、情報通信体制を整備する。

イ 記録業務における通信体制

競技記録を迅速かつ正確に送受信するとともに、記録業務を円滑かつ効率的に実施するための情報通信体制を整備する。

(3) 大会参加者等への情報提供

大会参加者等へ交通、宿泊、医療、観光等の多様な関連情報及び競技結果の提供に努める。

3 通信に係る環境及び体制の構築に係る諸配慮

(1) 安心及び安全の確保

大会参加者等の安心及び安全を確保するため、感染症や災害に備えて競技団体との役割分担や連絡体制づくりに取り組む。

(2) 開催経費の縮減

開催経費を削減するため、これまでに準備してきた情報通信機器の設置計画やリハーサル大会等を通じて得られたノウハウを活用して、さらなる簡素化及び効率化を進める。

(3) デジタル化・SDGsの推進

大会参加者等の利便性や満足度を高めるため、競技会の運営や競技記録業務における情報について、デジタル技術を活用して通信の効率化やリアルタイムでの発信に努める。また、SDGsの推進のため、記録用紙等の印刷物について環境への配慮を検討する。

4 その他

(1) この計画に定めるもののほか、必要な事項は別に定める。

(2) 競技別リハーサル大会における情報通信業務についても、必要に応じてこの計画を準用する。

信州やまなみ国スポ
下諏訪町競技別リハーサル大会開催基本計画

1 目的

信州やまなみ国スポ（以下「国スポ」という。）の開催に万全を期するため、競技別リハーサル大会（以下「大会」という。）については、町と競技団体が協力し、国スポにおける競技会運営能力の向上を図るとともに、町民等の国スポ開催に対する機運の醸成を図る。

2 大会の選定

大会は、第47回全日本中学選手権競漕大会とする。

会期：令和9年7月24日（土）～25日（日）公式練習23日（金）

3 大会運営

大会の運営は、「下諏訪町開催推進総合計画」及び信州やまなみ国スポ・全障スポ実行委員会（長野県）が定める各種方針等に基づき、実施するものとし、競技団体と協力し、創意工夫を凝らして、簡素で効率的な大会運営に努める。

4 内容

(1) 実施本部の設置

大会の運営に万全を期するため、大会実施本部を設置する。

(2) 競技運営

競技運営の主管は競技団体とし、町は競技団体と緊密な連携のもと、業務分担を明確にすることで合理的かつ効率的な運営に努める。

また、競技記録の収集及び速報について、競技団体との緊密な連携のもと、迅速かつ正確に処理を行う。

(3) 式典

開閉会式及び表彰式は、競技団体と協議し、競技運営に支障のないよう簡素化に努める。

(4) 施設

大会で使用する施設は、国スポで使用する競技会場を充てることとし、国スポを見据えながら大会の規模や趣旨に応じた会場設営を行う。仮設物についても、必要性を検討し、最小限のものとする。

(5) 競技物品

大会に必要な競技物品については、既存物品を活用することとし、不足する場合は借用での対応を基本とする。

また、物品を新たに購入する場合には、国スポでの使用を考慮し、必要最小限とする。

(6) 広報・町民運動

国スポに対する町民の関心や参加意欲を高めるため、各種広報活動及び町民運動の取組を展開する。

(7) 観光・おもてなし

大会に参加する選手、監督、役員、視察員、報道員その他関係者及び一般観覧者（以下「大会参加者等」という。）を温かく迎えるため、必要に応じて競技会場に歓迎装飾や案内所、休憩所等を設置する。

(8) 医事・衛生

大会参加者等の傷病に速やかに対処するため、関係機関等の協力を得て、医事救護体制を整えるとともに、清潔で快適な環境整備に努める。

(9) 輸送・交通

大会参加者等の輸送については、原則として公共交通機関を利用する。ただし、競技会場・宿泊施設間の公共交通機関の状況等を考慮し、必要に応じて計画輸送を実施する。

(10) 警備・消防

大会を安全かつ円滑に実施するため、関係機関等と連携し、雑踏事故、火災その他の災害、事故等の未然防止に努める。

5 その他

この計画に定めるもののほか、大会開催に必要な事項は本計画に準じて実施する。